

山中湖文学の森

三島由紀夫文学館

Mishima Yukio Literary Museum



山中湖フォーラム'99

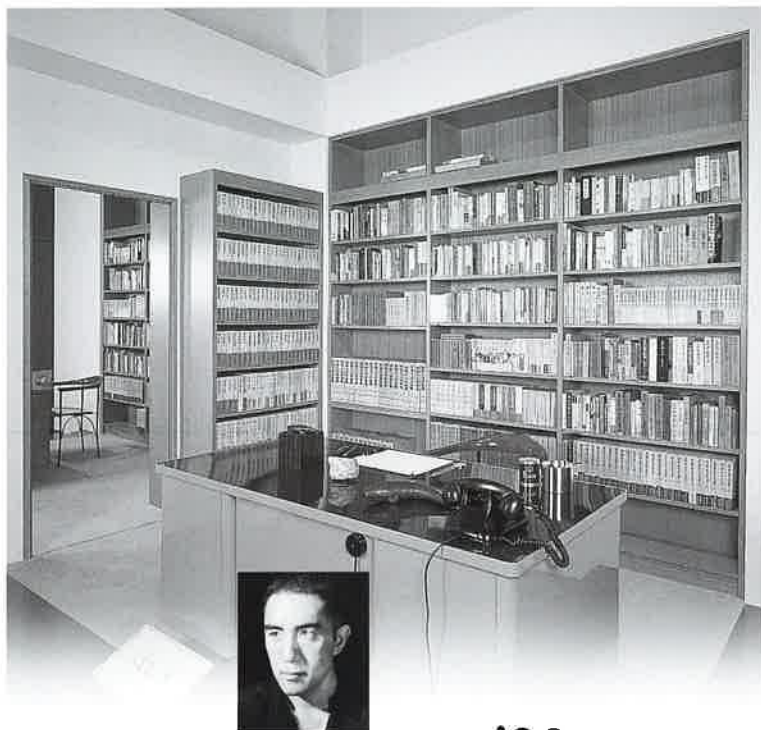
# 挑発する三島文学

■パネリスト (50音順)

有元伸子(ありもと・のぶこ/鈴峯女子短期大学助教授) 井上隆史(いのうえ・たかし/白百合女子大学助教授) 佐藤秀明(さとう・ひであき/椋山女学園大学教授)

- 日 時/平成11年(1999年)12月4日(土)(13:00)~5日(日)(12:30)
- 会場/三島由紀夫文学館ほか ■定員/150名(先着順)
- 参加費用/①1,500円 入館料+配布資料(文学館図録を含む)  
②3,500円 入館料+配布資料(文学館図録を含む)+4日夕食希望者
- 申込方法/往復ハガキに①住所②氏名(同伴者の氏名)③年齢④性別⑤電話番号  
⑥参加費用①②のどちらかをご記入の上、下記住所にお申込み下さい。
- 申込締切/平成11年(1999年)11月24日(当日消印有効)
- 申込問合せ先/山中湖文学の森・三島由紀夫文学館  
〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野506-296  
TEL 0555-20-2655 FAX 0555-20-2656 e-mail ybm@olive.ocn.ne.jp
- 宿泊問合せ先/山中湖観光協会  
TEL 0555-62-3100 FAX 0555-62-6181 <http://www.vill.yamanakako.yamanashi.jp/>
- 主催/山中湖村役場・山中湖村教育委員会

作家三島由紀夫は、文学の世界にとどまらない幅広い領域で活躍し、没後二十九年目を迎えた今日でも、国内はもとより世界中から強い関心を集めています。しかし、その文学と生涯をあらためて見つめ直してみると、そこには幾つもの「謎」が潜んでいることに気づかされます。多くの直筆原稿や創作ノートなどを所蔵する三島由紀夫文学館は、そのような「謎」に問いを投げかけてゆく三島文学研究の拠点たることを目指していますが、そのためには、実際に三島の作品を手にとって読み、どんなに素朴なものであっても、その印象を互い



に語り合うことも大切な試みではないでしょうか。

このような目的のために企画された「フォーラム・挑発する三島文学」は、はじめに三人のパネリストがそれぞれ三島文学に関して問題を提起しますが、参加者の方々と双方向的に意見を交換することを通じて、新たな理解を生み出してゆこうとするものです。三島作品の愛読者はもちろん、これまで三島由紀夫とはあまり接したことがないという方も、三島由紀夫の世界を体験出来るこの「フォーラム」にふるってご参加下さいませよう、期待致しております。

山中湖フォーラム'99

# 挑発する三島文学

## ■パネリスト紹介

**有元伸子** (ありもと のぶこ/鈴峯女子短期大学助教授)

1960年(昭和35年)生まれ。主な論文に『豊饒の海』における『転生』(『日本文学』平7・6)『豊饒の海』における『沈黙』の六十年(『日本近代文学』平7・10)など

**井上隆史** (いのうえ たかし/白百合女子大学助教授)

1963年(昭和38年)生まれ。主な論文に『豊饒の海』における輪廻説と唯識説の問題(『国語と国文学』平5・6)『想像力と生—金閣寺論』(『国文白百合』平9・3)など

**佐藤秀明** (さとう ひであき/椋山女学園大学教授)

1955年(昭和30年)生まれ。主な論文に『金閣寺論』(『日本文学』平6・1)『自己可視のモダニズムと三島由紀夫の〈反個性〉』(『日本近代文学』平9・10)など



有元伸子



井上隆史



佐藤秀明

## ■プログラム

**12月4日(土)**

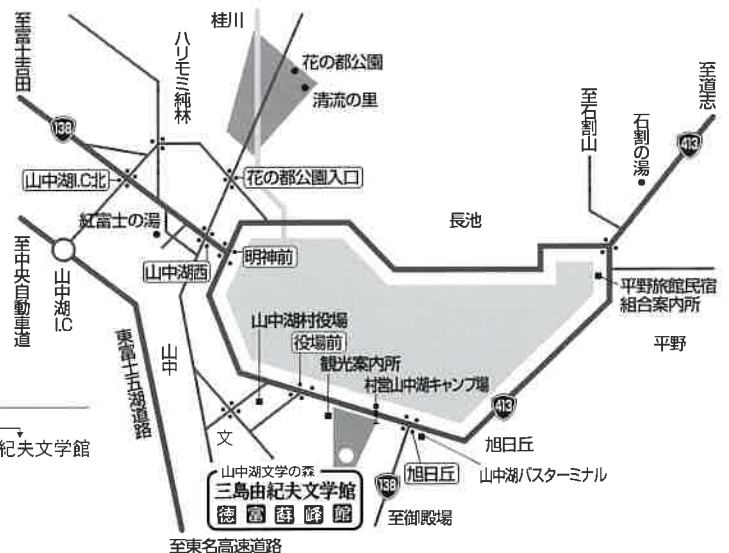
- 12:30~13:00 三島由紀夫文学館にて受付
- 13:00~14:00 館内見学
- 14:00~14:30 フォーラム会場・清溪へ移動(徒歩・約9分)
- 14:30~17:45 パネリストによる問題提起(途中・休憩15分)  
有元伸子 〈性〉を語る三島文学  
井上隆史 「豊饒の海」と仏教  
佐藤秀明 三島文学における場の感覚
- 17:45~18:00 休憩
- 18:00~19:00 映像「世界の文豪・三島由紀夫」鑑賞
- 19:00 フォーラム終了、解散(問題提起や質問事項の用紙を回収)  
食事希望の参加者はパネリストと共に食堂へ集合

**12月5日(日)**

- 9:50 フォーラム会場・清溪に集合
- 10:00~12:00 4日に集めた問題提起や質問事項について、フォーラム・ディスカッション
- 12:00~12:30 終了、アンケート用紙回収

## ■交通アクセス

- 鉄道・路線バス ▶ JR中央線大月駅 富士吉田駅 村宮山中湖キャンプ場バス停 三島由紀夫文学館  
「富士急行線」約50分 → 「路線バス」御殿場、平野行き 約25分 → 「徒歩」5分
- ▶ JR御殿場線御殿場駅 村宮山中湖キャンプ場 三島由紀夫文学館  
「路線バス」富士吉田駅、河口湖駅行き 約40分 → 「徒歩」5分
- 高速バス ▶ 新宿駅西口ターミナル 山中湖バスターミナル 三島由紀夫文学館  
「高速バス」約150分 → 「徒歩」15分  
 ※京王高速バス予約センター ☎03-5376-2222
- マイカー等 ▶ 山中湖I.C. 三島由紀夫文学館  
「国道138号線」約4Km



■ご注意 当日道路の混雑が予想されますので定刻通りのバス等の運行が難しいと思われる。時間に余裕を持ってお出かけ下さい。又、12月の山中湖は気温が下がるので、暖かい服装でお出かけ下さい。

山中湖文学の森  
**三島由紀夫文学館**  
 Mishima Yukio Literary Museum